



子どもたちを前に様々な物語を語り聞かせる紙芝居。  
 場面ごとに絵を描いて物語を語る、現在の「平絵紙芝居」という形式は、昭和5年(1930)頃に登場したとされます。その後、太平洋戦争が始まると、国策の宣伝や人々の戦意を高揚させる内容の紙芝居が数多く作られるようになりました。  
 本展では、博物館が収蔵している戦時中の紙芝居の中から紹介します。

**開館時間** 9時～17時(入場は16時30分まで) **休館日** 月曜日、8月12日(金)

**観覧料** 一般330円(260円)・高大生240円(190円)・小中生160円(130円)

※( )内は15名以上の団体等の割引料金。大津市内在住の65歳以上の方は小中学生料金と同額。  
 大津市内在住の障がい者の方、介護保険の要介護者・要支援者の方は無料。

**主催** 大津市歴史博物館 **会場** 大津市歴史博物館 常設展示室内 ミニ企画展コーナー

**同時開催**

ロビー展

## 戦地からの手紙

2022年8月2日(火)～9月4日(日)

戦争中、戦地にいる軍人たちと日本の家族や知人たちとの間では「軍事郵便」を使ってやりとりしました。軍事郵便には検閲がありましたが、戦地との間をつなぐ唯一の手段でした。

展示では、大津市遺族連合会の会員の方々から集められた手紙を中心に、戦時下の人々の様子や思いを紹介します。

**主催** 大津市歴史博物館 **協力** 大津市遺族連合会  
**会場** 大津市歴史博物館 1階 エントランスロビー

**ロビー展は観覧無料**



映像展示

「戦時中の紙芝居」と「戦地からの手紙」の朗読を上映します。

1階 100インチシアター

**大津市歴史博物館**

〒520-0037 大津市御陵町 2-2 TEL077-521-2100  
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>